

東邦病院広報誌“Andy you(あんどゆー)”は、地域の皆様に医療・健康情報をお届けするコミュニティ情報誌です

東邦病院 広報誌 あんどゆー

TAKE FREE
ご自由にお持ち
ください

Andy you

NO. 447

医療法人社団三思会
東邦病院 広報誌
2025.1



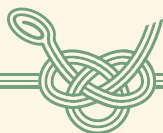
Contents

●新年のご挨拶(院長・副院長)

【理念】昨日を反省し 今日を考え 明日に備える

【基本方針】

1. 私達は、患者様の人権と意思を尊重し納得と同意に基づく患者様本位の医療を心がけます
2. 私達は、地域住民の皆様健康維持増進に寄与し、安全で信頼を得る医療を実行します
3. 私達は、日々研鑽し働きがいのある職場をつくり良質で高度の医療を目指し努力します
4. 私達は、当院における診療機能を積極的に広報し、地域の医療機関、高齢者・福祉施設との連携を推進致します
5. 私達は、院内情報を共有し、健全で安定した運営を 継続するため努力します



新年のご挨拶



院長 駒井 太一

皆様、新年あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、ふと空を見上げた時の変わらぬ青さに、数年ぶりに感銘を受けました。

昨年は、健康の大切さと生きていることの価値を改めて感受する一年でもありました。日々の健康管理の重要性を再認識し、一人ひとりが健やかで充実した日々を過ごすことの大切さを深く感じました。

振り返れば、昨年も様々な挑戦と変化に満ちた一年でしたが、患者様の健康と安定を第一に考え、全職員が一丸となった最善の医療を提供することを心掛けてまいりました。患者様・御家族様からいただいた暖かいお言葉や励ましの声は、私たちにとって大きな励みとなっております。

病院が地域社会を豊かにする存在というのをおこがましいかと思えます。しかし、地域を不幸せから少しでも遠ざけられる存在であり続けたいと思えます。社会情勢の激変を端緒とした底の割れかねない状況の中で、地域のセーフティーネットとして一翼を担えるように体制を整えていきたいと思えます。健全な危機感を維持しつつも、明るく楽観的に一丸となって病院全体で前に進んでまいります。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。



副院長 植木 嘉衛

新年あけましておめでとうございます。

令和7年を迎え、パンデミックの収束とともに日常の生活が取り戻されつつあることを大変うれしく思います。

当院では引き続き感染対策を徹底しながら、地域の皆様に安全で質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。近年、桐生、みどり地区でも人口減少や労働力不足が顕著になり、医療提供体制に大きな影響が及び始めていることを感じております。このような中でも、診療体制の見直しや、スタッフ教育の充実を図り、診療体制の維持とさらなる強化を目指してまいります。

本年も皆様の健康を支えられる存在であるよう努力を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長 細沼 賢一

新年明けましておめでとうございます。

コロナ感染への対応も5年近く経過し、まだまだ制約は多いものの、患者様の御協力もあり、面会制限もようやく少しずつ緩和できるようになってきました。当然ではありますが、今後も気を緩めず、当院全体として引き続き感染対策、職員の行動・体調管理を徹底していきたいと思えます。

そして、本年も急性期、地域包括ケア、回復期、療養、緩和の各病棟を有する当院の特徴を生かして、各科、各部門が協力して、患者様一人一人の状況に合わせたきめ細かい診療を心掛けていく所存です。

ますます高齢化の進む現代において、当院が地域に根差した病院として、少しでも地域の皆様の御要望に応えられるよう職員一同努めていきたいと思えますので、本年も何卒よろしくお願い致します。



HAPPY NEW YEAR